

県立ふじのくに国際高等学校 国際バカロレア (IB) についてのQ&A

(R6.6.1 現在)

NO	項目	質問	回答
1	概要	国際バカロレア (IB) とは何ですか？	国際バカロレア (IB) 機構が提供する国際的な教育プログラムです。2年間の学習後に試験を受けてDP (ディプロマ・プログラム) 資格を取得すると、試験の得点に応じて国内外の様々な大学の受験資格が得られます。
2	概要	国際バカロレア (IB) を学ぶことのメリットは何ですか？	世界で求められている、幅広い知識の探究スキル、課題発見・解決能力、コミュニケーション能力等を身に付けることができます。IB入試のみならず、大学の総合型選抜や推薦入試等にも積極的にチャレンジできます。
3	概要	国際バカロレア (IB) を学ぶことのデメリットはありますか？	授業内容が日本の一般的なカリキュラムとは異なるため、日本の大学入試 (一般入試) 対策ができません。大学入学共通テスト (旧大学入試センター試験) などを利用して、大学進学を希望する場合は、IBを履修しないことを推奨します。
4	概要	国際バカロレア (IB) を学ぶために必要な資質は何ですか？	IB機構が示している“10の学習者像”を参考にしてください【例: コミュニケーションができる人、心を開く人、バランスのとれた人 など】。語学力 (英語力) だけに留まらず、仲間と協働する力や時間管理をする力など、様々な場面でセルフ・マネジメントをする力が求められます。
5	概要	入学後は、どのようにすればDPを受講できますか？	DPは令和8年度から開始予定です。令和7年度の在校生を対象に、説明会や体験授業を複数回実施し、面談を重ねたうえで、受講者を決定します。必要に応じて適性検査 (英語力テストなど) を実施する場合もあります。
6	カリキュラム	開講予定科目は何ですか？	Japanese A (HL/SL)、English B (HL/SL)、History (HL/SL)、Biology (SL)、Chemistry (SL)、Math (HL/SL)、Visual Arts (SL) を予定しています。
7	カリキュラム	時間割はどのようになりますか？	入学年次に文部科学省が定めた必修科目を多く履修します。2年次・3年次はDP科目を中心に履修します (入学年次の後期からDP科目をスタートするかについては、現在検討中です)。I部に所属することになりますが、他の一般生徒と比較すると、時間数が多くなるため、およそ週3日以上は1時間目から8時間目 (8:45～16:25) まで授業を受けることになります。
8	カリキュラム	一部のDP科目のみ選択して受講することはできますか？	可能です。ただし、選択する履修モデルによっては対応できない場合があります。選択可能な科目については、説明会で周知していきます。
9	カリキュラム	授業の評価はどのように行われますか？	文部科学省の基準に基づいた評定 (5段階) 及びDPの基準に則った評定 (7段階) で評価していきます。

10	学校生活	DPを履修しない生徒との交流はできますか？	DPはカリキュラムが特殊なため、特に2年次以降は、DP生のみで授業を受けることが多くなります。しかしながら、HRは他の生徒と同じクラスに所属するため、文化祭・体育祭などの学校行事においては、DP生以外の生徒とも交流ができます。
11	学校生活	アルバイトをすることはできますか？	学校のルール上では可能ですが、DPは課題等が非常に多いため、あまり勧めることができません。
12	学校生活	留学をすることはできますか？	DPプログラムは、2年間を通じて、試験・レポート提出等があるため、DP履修期間に長期留学をすることはできません。
13	進路	主な進路先にはどのようなものがありますか？	現在、国内外の大学でIB入試を取り入れる大学が増えています。また、IB入試制度を利用しなくても、国内の大学の総合型選抜等にチャレンジすることができます。
14	高校入試	入学者選抜（高校入試）は他の高校と同じですか？	他の県立高校（単位制の定時制課程）と同じです。一般選抜のなかで、学校裁量枠を設けます。学校裁量枠では「国際教育プログラムへの適性」「探究活動」及び「意欲」の枠を設定する予定です。IBに興味・関心のある生徒は、「国際教育プログラムへの適性」への志願を勧めています。
15	その他	DP開始前にはどの程度の学力が必要ですか？	中学校及び高校1年生段階で身に着けるべき基礎学力が必要です。授業内では、基礎的な知識・技能は身につけていることを前提に、ディスカッションやレポート作成が行われます。
16	その他	英語力はどの程度必要ですか？	デュアル・ランゲージ・プログラムを採用するため、EnglishB及びMathは英語で実施する予定です。高校入学時に、英検2級又は準1級以上の英語力を持っていることが望まれます。
17	その他	必要な経費について教えてください。	在籍するために必要な経費（授業料・PTA会費等）に加えて、自己負担となる経費（DP教材費・DP資格試験受験料など）が必要です。

ふじのくに国際高等学校は、国際バカロレア（IB）ディプロマ・プログラムの候補校（★）です。本校はIBワールドスクール（IB認定校）としての認定に向けた申請段階にあります。IBワールドスクールは、「質の高い、チャレンジに満ちた国際教育に信念をもって取り組む」という理念を共有する学校です。ふじのくに国際高等学校も、このような教育に取り組むことが、生徒にとって大切であると信じています。（★）IBの「初等教育プログラム」（PYP）、「中等教育プログラム」（MYP）、「ディプロマ・プログラム」（DP）、及びキャリア関連プログラム（CP: Career-related Programme）の4つのプログラム（および「IBキャリア関連サーティフィケート」）を実施することができるのは、国際バカロレア機構に認定された学校のみです。候補校であることは、IBワールドスクールとして認定されることを保証するものではありません。国際バカロレア機構およびIBのプログラムの詳細については、国際バカロレア機構のウェブサイト(<https://www.ibo.org/>)をご覧ください。